



学校評価アンケートより

校長 武井 一郎

今年も台風の被害が全国各地に出ていますが、今のところ、本校の学校行事に影響はありません。学校公開、2 年次修学旅行、クラスマッチ、歩くと保護者の皆様のご協力もいただきながら計画通りに進めております。

さて、例年行っている生徒・保護者による学校評価アンケートがまとまりましたので、報告します。

生徒によるアンケートでは、肯定的な意見の割合(%)が昨年を上回ったものが6項目ありました。特に、学習活動に関する4項目中、3項目「学習活動は充実している42%」、「学習目標は達成できた36%」、「朝の自学自習ができて33%」が昨年より高くなりました。教員による粘り強い指導が浸透しつつあり、生徒の学習への意識が高まっているものと考えられます。

学校生活は、「友人を尊敬できる92%」、「ホームルームが楽しい91%」、「海高で学んでよかった81%」と充実し、満足度がとても高くなっています。反面、「将来の目標が明確62%」、「学校で相談に乗っても

らっている72%」割合がやや低く、自分の将来に不安があり学校のサポートにも少し不満を抱いていることがわかります。

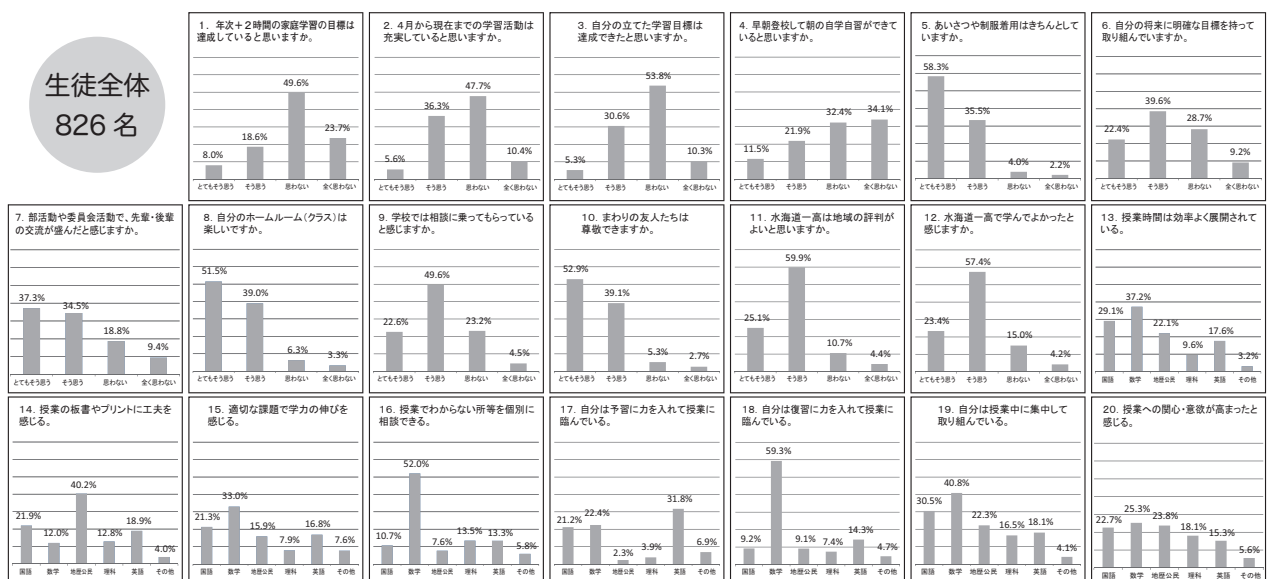
一方、保護者は、例年と同じように、本校の目指す方向性や年次の教育方針に理解を示しています。保護者の評価が80%を超えており、学校への信頼は厚いものとなっています。

項目別に見ていきます。学校の指導内容である「授業や課外活動に満足88%」、「熱意のある授業90%」、「生徒指導に満足91%」に対して、「進路指導に満足85%」がやや低く、さらなる進路指導の充実を望んでいます。「サタデー学習会に期待81%」、「PTA活動は充実87%」と保護者も学校での活動に大いに関心を示しています。「子どもと会話している83%」、「家族そろって食事をしている82%」、「学校の話題がよくでる80%」と円満で暖かい家庭が多く、親子のコミュニケーションが成立しています。総合的な本校の評価は、「地域の評判がよい95%」、「本校に入学させてよかった92%」ととてもよい数値になっています。

しかし、生徒の自己評価と同じように、子どもの学習活動や進路目標に肯定的な割合は、「子どもの学習活動に満足57%」、「子どもの進路希望は明確50%」と半数程度でした。学力向上と進路目標の明確化への努力は生徒及び保護者にとり重い課題となっています。

現在、特別棟教室へエアコンを設置する方向で検討をすすめるなど、学習環境を整備するとともに教員の組織的で効率的な指導を推し進めています。今後とも生徒に寄り添い、生徒の学習への取組みを強化し、進路意識を高めてまいります。

学校活動評価アンケート（7月実施）集計結果

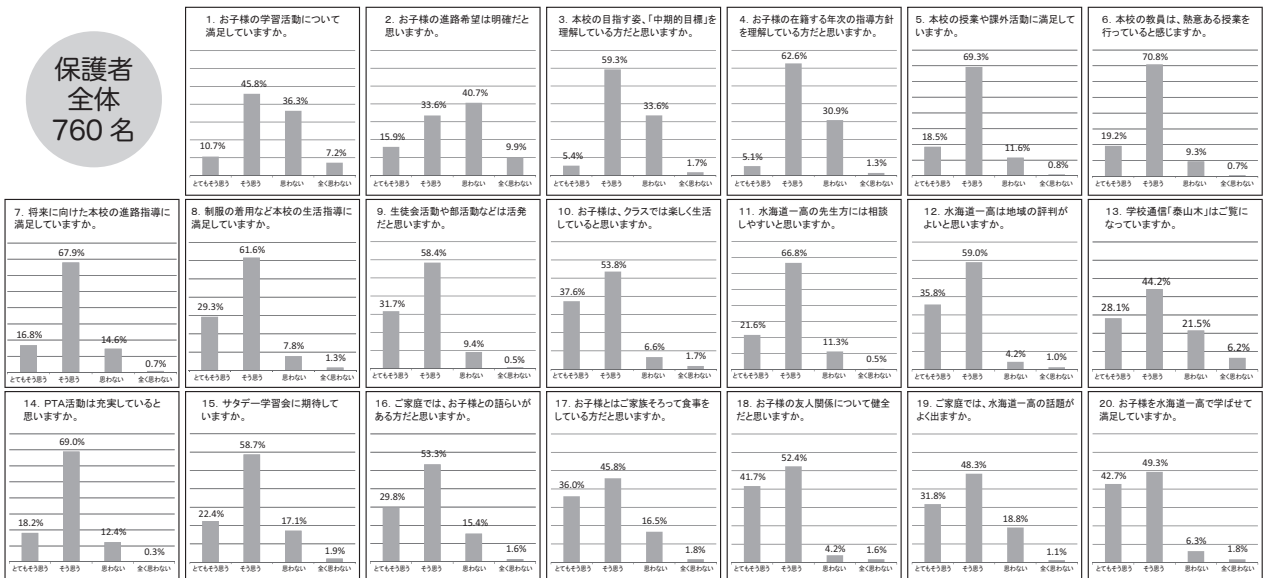


(1)

水海道一高は 1900 年創立。未来を築く青年の育成をめざして日々進歩し続けています。

学校活動評価アンケート(7月実施)集計結果

保護者
全体
760名



大学入試センター試験志願票を発送して

3年次



9月6日に行われたセンター試験説明会の様子

3年次主任 大久保 一司

9月28日、大安の日に大学入試センター試験に出願する262人分の「志願票」を発送してきました。後日発送した分と合わせて263名が大学入試センター試験に挑みます。大学入試センター試験までちょうど100日となった10月6日、集会で「限られた時間の中で最大限の効果を上げる学習が必要になる」という話をしました。「泰山木」が出る頃には残り60日前後になっていて、受験も間近に迫り焦りを感じ始めている人もいるかもしれません。

仏陀の言葉に「過去に生きようとするな。未来を夢見てばかりでもいけない。現在のこの一瞬に集中しなさい。」というのがあります。過去の反省をするとか、未来の目標を考えるなどという意味ではなく、「過去への後悔や未来への不安にとらわれるな」ということで、「ネガティブな思考にとらわれてはいけない」ということです。では、ネガティブな思考が現れたらどうすればよいのでしょうか？ 仏陀は、「それを肯定も否定もせず、第三者として客観的にその思いを観察することが良い」と説いています。

先日お話を伺った早稲田大学アーチェリー部総監督の守屋麻樹さんも同じようなことを言っていました。羽生結弦選手の例を出して、「ネガティブな感情が浮かんできたら、そういう考えをしている自分を認めてあげることでプレッシャーから解放される」という内容でした。

受験勉強が計画通りうまくいかず、焦りを感じてしまった時、受験本番で緊張してしまった時、焦っている自分・緊張している自分を『あ、今、自分焦ってるな』『あ、今、自分緊張してるな』と、客観的に見て、『焦って当然だよ』『緊張するのあたりまえだよ』と認めてあげて、今自分にできることだけを精一杯やりきればよいと思います。健闘を祈ります。



夏の課外の様子

水海道一高「いのちの教育」は、ひとりひとり個性を自覚し立志の夢を追いかける学園創造をめざして取り組んでいます。(2)



クラスマッチ開催

10月18日

10月20日



3年次

総合1位 3年6組
2位 3年5組
3位 3年3組

種目別1位

・男子フットサル	3年6組A
・男子バスケットボール	3年5組
・男子バレーボール	3年6組A
・女子卓球	3年5組
・女子バスケットボール	3年4組
・女子バレーボール	3年5組
・大縄跳び	3年3組
・玉入れ	3年6組



1年次

総合1位 1年3組
2位 1年1組
1年2組
(*同率2位)

種目別1位

・男子フットサル	1年2組
・男子バスケットボール	1年3組
・男子バレーボール	1年6組
・女子フットサル	1年1組
・女子バスケットボール	1年1組
・女子バレーボール	1年3組
・ドッジボール	1年3組



2年次

修・学・旅・行

2-2 田中 恵璃花

沖縄。私はここで、人生を歩む上で成長する機会を得ることができました。夏休みから事前学習として普天間基地問題などについて学習してきました。特に『平和』について学びました。沖縄戦についてもどれだけ悲惨だったのかある程度知ってから、皆足を運んだと思います。しかし、百聞は一見に如かず。壕に入ったり、ひめゆり平和祈念公園を訪れたり、多くの体験談や実物・資料などに触れ、私は絶句しました。生々しい数々の傷跡。胸が締め付けられました。現在沖縄は観光で栄えていますが、今も不発弾が毎月のように発見されているそうです。



私はこの修学旅行をとおして2つのことを学びました。1つ目は、人間の犯した過ちがどれだけ醜いのか。その反面、過ちから学習して前に進み成長するのも人間である。ということです。2日目の琉球大学のワークショップで行った『むすびのこぼ』で感じました。最近自然災害が多い今の日本において、とても大事なことだと強く思いました。さらに、人間の可能性が感じられ、平和のありかたを見直すことができました。



また、同じ時間を共に過ごす仲間がいること、つまり人との繋がりの大切さも学びました。旅の醍醐味でもある「一期一会」はもちろん、前から仲の良かった人たちとの絆が深められ、今まであまりかかわる機会がなかった人たちとも沢山かかわりを持つことができました。そして首里城などを見学し、その文化の素晴らしさにも触れることができました。



この経験はこれからの生かしていきたいです。そして、辛いことがあってもこの思い出を胸に頑張っていきます。

(3)

水海道一高は「学校・家庭・地域 三位一体型教育環境」の整備に力を入れます。

渉外広報部
より



第66回全国高等学校PTA 連合大会に参加して

PTA 監事 田村 仁志

8月25、26日に「再発見!愛」のメインテーマのもと幕張メッセで開催された第66回全国高等学校PTA連合大会に東谷会長をはじめとする役員の方々や武井校長、吉原先生と参加してきました。



文科省の松野大臣や千葉県森田健作知事のあいさつをいただき開会式が終了すると千葉敬愛短大の明石学長の「高校生の自立を支援するPTA活動の在り方」と題した基調講演を聞きました。

「進路指導とPTA」をテーマとした第2分科会はとも有意義でした。子どもたちの進路希望を実現するためには、いかに夢を持った将来を設計し、主体的に進路を選択する力を身につけるかが必要です。家庭と学校、地域社会、産業界との連携を推進し、子どもたちの夢の実現のために、私たちがどう関わっていくべきかを考えさせられました。

とくに、毎日の生活の中で「夢を持った将来設計」を親や先生方が子どもたちにどう語り持たせていくかが、自らの進路実現に向けて自立して挑戦していくモチベーションにつながっていくのだらうなあと感じました。

いずれにしても、熱気あふれる暑い千葉に行き、全国の皆さんの「思い」を知ることができ、中身の濃い2日間となりました。参加させていただきありがとうございました。

第2回サタデー学習会

進路選択における保護者の役割と 高校生の保護者に今知って欲しい事

10月8日(土)、株式会社リクルートマーケティングパートナーズより、岡裕幸先生にお越しいただき、進学の今や就職環境について講演をいただきました。企業の人材ニーズの変化やコミュニケーション能力や主体性など、社会で求められる力について知ることができました。とても楽しいお話で、子供との関わり方について参考になりました。

学校公開日ということで、一般の方を含め70名を超える参加をいただきました。ありがとうございました。次回のサタデー学習会は、2月18日を予定しております。



図書館
便り

常陽亀陵会から5万円寄付

常陽亀陵会から5万円の寄付をいただきました。常陽銀行の先輩方が本校生のために毎年寄付をしてくれています。有り難い事です。

「常陽亀陵会」とは常陽銀行に勤務する本校卒業生による済美同窓会の一組織です。図書館ではいただいた寄付を本の購入や備品の整備に活用しています。本館フロアーにある移動図書の本棚などはその一例です。寄付による寄贈図書には「常陽亀陵会」の蔵書印を押しています。たまたま手に取った本に「常陽亀陵会」印が押してあったときは思い返してみてください。

では、今日も勉強しましょう。読書百編義自(おのずか)から見(あらわ)る。『魏志』。



掲載する写真を選びながら、いつものだが、皆とてもよい表情をしている。そして、なんて上手に写真が撮れるのだろう!とカメラマンの腕に感動する。私にはとても無理だ。秋は何かと行事が多い。クラスマッチや修学旅行、歩く会。大学見学会など、自分の高校時代を思い出してみると、やはり秋に行事が多かったような気がする。体育祭的なイベントとか最後まです。芸術鑑賞会とか職場見学会とかがあったかなあ。歩く会はゆつくりのんびり歩きたながら(歩くのが遅い)、友達といろいろな話ができて、とても楽しかった。大好きな行事だった……「ママ、まだ?早くお仕事終わりにして!!」しみじみ高校時代の思い出にひたついている場合ではない。午後9時半。いつもなら寝ている時間だ。(Y)

編集後記

行事予定 (11・12月)

11月

- 14日(月) 後期中間考査(~/17)
- 18日(金) 特編授業I期開始(3年次)
クラスマッチ(2年次)
- 22日(火) キャリアガイダンス(1年次)
小論文ガイダンス(2年次)
- 24日(木) 小論文模試(2年次)
- 25日(金) K+④⑤⑥
- 26日(土) 土曜課外⑦
- 27日(日) 河合塾センタープレ(3年次)
- 28日(月) 河合塾センタープレ(3年次)
面談週間Ⅳ(~/12/6)

12月

- 2日(金) ①②③+K
- 3日(土) 土曜課外⑧・GTEC(1・2年次)
- 5日(月) 保護者面談代休
- 6日(火) K+④⑤⑥
- 8日(木) 月曜日課
- 9日(金) 保護者面談(金①②③④)
- 10日(土) 保護者面談(金⑤⑥)
- 12日(月) ①②③+K
- 13日(火) 小論文ガイダンス・模試(1年次)
- 15日(木) センター試験説明会③(3年次)
- 21日(水) ①②③+K
- 22日(木) 午前火①②③④
午後大掃除・奉仕美化活動・全校集会

▲能楽体験講座の様子

▲避難訓練の様子